

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成26年4月24日 (2014.4.24)

【公表番号】特表2013-522427(P2013-522427A)

【公表日】平成25年6月13日 (2013.6.13)

【年通号数】公開・登録公報2013-030

【出願番号】特願2013-500420(P2013-500420)

【国際特許分類】

C 0 8 L 21/00 (2006.01)

C 0 8 K 3/04 (2006.01)

C 0 8 K 7/24 (2006.01)

C 0 8 K 7/02 (2006.01)

【F I】

C 0 8 L 21/00

C 0 8 K 3/04

C 0 8 K 7/24

C 0 8 K 7/02

【手続補正書】

【提出日】平成26年3月10日 (2014.3.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

少なくとも、ジエンエラストマー、30phrよりも多い液体可塑剤、50phrと150phrの間の量の補強用充填剤系を含むゴム組成物であって、2phrと50phrの間の量の金属酸化物中空微粒子および2phrと50phrの間の量の水溶性短繊維をさらに含むことを特徴とする前記ゴム組成物。

【請求項 2】

前記ジエンエラストマーが、天然ゴム、合成ポリイソブレン、ポリブタジエン、ブタジエンコポリマー、イソブレンコポリマーおよびこれらエラストマーの混合物からなる群から選ばれる、請求項 1 項記載の組成物。

【請求項 3】

50phrと100phrの間の量の天然ゴムおよびまたは合成ポリイソブレンを含む、請求項 2 記載の組成物。

【請求項 4】

50～100phrの、90%よりも多いシス 1,4結合含有量を有するポリブタジエンを含む、請求項 2 記載の組成物。

【請求項 5】

液体可塑剤の含有量が、40phrよりも多い、請求項 1 ～ 4 のいずれか 1 項記載の組成物。

【請求項 6】

前記液体可塑剤が、ナフテン系オイル、パラフィン系オイル、MESオイル、TDAEオイル、鉱油、植物油、エーテル可塑剤、エステル可塑剤、ホスフェート可塑剤、スルホネート可塑剤およびこれらの化合物の混合物からなる群から選ばれる、請求項 1 ～ 5 のいずれか 1 項記載の組成物。

【請求項 7】

補強用充填剤全体の含有量が、60phrと120phrの間の量である、請求項 1 ~ 6 のいずれか 1 項記載の組成物。

【請求項 8】

前記金属酸化物の金属が、アルミニウム、ケイ素、ジルコニウム、遷移金属およびそのような金属の混合物からなる群から選ばれる、請求項 1 ~ 7 のいずれか 1 項記載の組成物。

【請求項 9】

前記金属酸化物が、酸化および/または水酸化アルミニウム、酸化および/または水酸化ケイ素、アルミニウムとケイ素の酸化物および/または水酸化物、並びにそのような酸化物および/または水酸化物の混合物からなる群から選ばれる、請求項 8 記載の組成物。

【請求項 10】

前記中空金属酸化物微粒子が、2 μm と500 μm の間の質量中央値粒度を有する、請求項 1 ~ 9 のいずれか 1 項記載の組成物。

【請求項 11】

前記金属酸化物が、アルミノケイ酸塩である、請求項 1 ~ 10 のいずれか 1 項記載の組成物。

【請求項 12】

前記水溶性繊維が、ポリビニルアルコール(PVA)繊維、セルロース繊維、多糖類繊維およびそのような繊維の混合物からなる群から選ばれる、請求項 1 ~ 11 のいずれか 1 項記載の組成物。

【請求項 13】

前記水溶性繊維が、PVA繊維である、請求項 12 記載の組成物。